



令和元年  
7月号



発行  
公益財団法人  
奈良市生涯学習財団  
田原公民館  
奈良市茗荷町1078-1  
TEL/FAX 81-0888  
発行責任者  
泉森 由貴

## 「百姓の来年」

館長 泉森 由貴

令和になってひと月が経ちました。今年  
は改元があったことで新年が二度訪れたよ  
うな気持ちになりますね。

元号の発表時には日本各地で決定を心待  
ちにしていた皆さんの様子がニュースで放  
映されていました。海外メディアは特異な  
目でその光景を報じたようです。

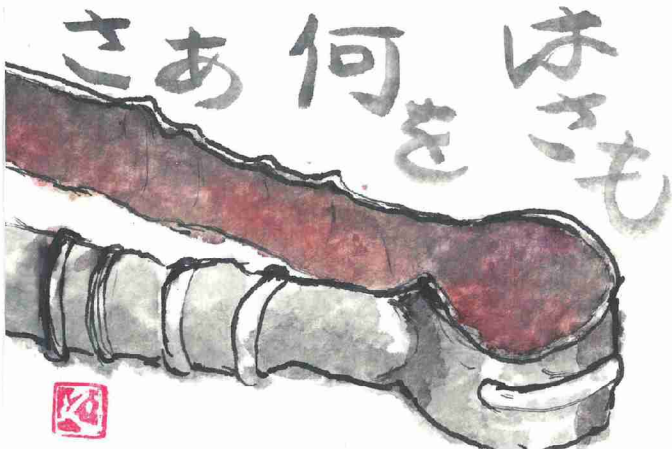
公民館に来られる方がこんなことをおっ  
しゃっていました。「私ら昭和生まれやけ  
ど、明治の頑固オヤジには難儀したわ。そ  
のうち令和の子にそんなこと思われるんか  
な。」昭和の時代も二つ前のもの。ノスタ  
ルジックなことを示す言葉にどんなとなっ  
ていくのかも知れません。

さて、先日地域の郵便局長さんと話をし  
た時に聞き慣れない言葉がありました。そ  
れは「百姓の来年」というものです。農家  
にとって収穫量は生活に直結するもの。生  
りものの成長は日々気になるものです。し  
かし、相手は自然です。獣害に冷害、日照  
りなど人の力ではどうしようもない大きな  
力を感じ知らされることになります。果実  
にも表裏の年があるということで、毎年同  
じだけの恵みをいただくことは困難です。  
そんな時に口をついて出る言葉が「また来  
年やな。」「来年があるやん。」と。今年  
はダメだったけど、また来年に期待したい。

いつも希望をもってやることでまたやる気  
も湧いてくるものです。一昔前に流行った  
「明日があるさ」の歌にも共通する、未来  
志向の考え方です。

思えば、改元も同じ想いから行った歴史  
があるようです。かつて、飢饉や疫病、大  
災害など人の生活を脅かす出来事が続いた  
とき、改  
元をする  
ことで時  
代を改め、  
希望をもつ  
て新年を  
迎える  
という意味  
合いを含  
めたそう  
です。

平成も  
歴史的な  
時代でし  
た。バブ  
ル崩壊も大震災もくぐり抜けてきた時代。  
皆さんの身近でも記憶に刻まれた出来事が  
たくさんあったと思います。東アジアの文  
化として生まれ、今や日本だけに残るとさ  
れる元号の制度ですが、新時代への期待を  
込めて、私たちは令和の今を生きていき  
たいですね。



## 令和元年度の老春塾が開講しました

### 開講にあたって

老春塾 塾長 平尾 正夫

山の木々も緑に芽吹き、田植えの終わっ  
た田んぼも青く根付いてきました。本当に  
暖かくなり、良い季節になってきました。  
そうして、今年も年号も、平成から令和に  
変わり、私達の老春塾も、新しく令和元年  
度の記念すべき年に開講いたしました。

尚、本年度の塾生は103名に申込み頂  
き、公民館の泉森館長さん始め、皆さんに  
お世話になり、今年の学習計画を立てて頂  
き、それに基づいて健康学習、暮らしのア  
イデア、健康体操、館外学習、僧侶の講話、  
音楽鑑賞と、いろいろ計画して頂いており  
ます。

その日第一回目は「ならの郷」より、認  
知症介護のお話を聞き、その後、梅干し体  
操等してリラックスしました。私達の体は、  
考えることや、体を動かし、使う事によっ  
てすり減るのでは無くて、鍛えられ、発達  
して行く様になっています。その為にも、  
より多くの方々の話を聞いたり、考える事、  
声を出して笑ったり、音楽を聴いて楽しむ  
事、体を  
動かすこと  
が大切で、  
認知症予防  
になると思  
います。

こうした  
会に、よ  
り多く出席



平尾 塾長

して頂き、より良い、楽しい老後を過ごせ  
る様、そうして、今日こうして、元気に居  
られる事に感謝して、今年一年間、楽しく  
学習して行きたいと思えます。どうぞ宜し  
くお願い致します。

### 田原まち創り講座「竹の再生」

### 募集します！

住んで良かった地域づくりを目指す、田  
原まち創り講座。昨年までのスタードーム  
制作に引き続き、地域の「竹」をテーマに  
今年も講座を実施します。田原には竹細工  
工房があり、竹林も多く、春にはタケノコが  
食卓に並び、竹と共に  
ある地域です。その竹  
についての知識を深め  
る講座を行います。竹の専門家より竹害に  
ならないための管理方法からタケノコの収  
穫を増やすにはどうすれば良いのかなどを  
教わります。ご参加をお待ちしています。



日程 7月19日(金)

内容 ①竹の種類と特徴などの講義13時

②竹を使ったティータイム14時半

③竹林で管理方法の実技15時

お申し込みお問い合わせは田原公民館まで。

## 親子なかよし 紙すき体験

開催日：7月27日(土)

時間：10時～12時

内容：日笠ワークスを会場に親  
子で紙すきの体験をして  
みませんか。出来上がったハガキはお土産にどう  
ぞ。

対象：奈良市在住・在学の小学  
生と保護者10組

費用：1組 1,000円

〆切：7月17日(水)





取材：浦川 温亮  
写真：泉森 由貴

### 矢田原町にあるお茶の研究施設「奈良県大和茶研究センター」を訪ねました。

梅雨入り間近の6月上旬、大和茶研究センター所長の瀬川賢正さんにお話を伺いました。施設の概要を教えてください。●昭和37年に奈良市法蓮町にあった茶業分場が現在地に移転しました。本館は平成2年に完成し、製茶工場、二次加工場、倉庫があります。職員は9名です。茶畑は1.4haで5品種を栽培し、品種見本園では約50種を保存しています。▼現在取り組んでおられることはどんなことですか？●特に力を入れているのは輸出向け茶生産技術の確立です。平成以降のお茶ブームにより海外でも緑茶のニーズが高まってきました。安定的においしいお茶を作るために一定の農薬を使いますが、輸出相手国の農薬基準に合わせないと輸出できません。農薬を減らすために黄色や青のフンフンを使って害虫を寄せ付けない試験研究をしています。



ランプの色で卵を産まなくなる害虫がいることがわかってきました。フェロモン剤を使って匂いによって害虫の繁殖を防ぐ実験もしています。光も匂いも安全性が高く、

他の作物にも使えるのではないかと期待しています。

▼研究実績としてはあるのでしょうか？●特筆すべきことは挿し木技術を確立したこと



瀬川所長

ですね。昔は直接タネを蒔いて苗木を育てていましたが、育ち方が不均一でした。大正13年に自身の茶業分場で押田幹太さんが挿し木によるお茶の苗木作りに成功されたこの方法が全国に普及しました。また品種としては「やまとみどり」がこの試験場で育成されました。寒さと病気に強く味の濃いのが特長です。収量が少ないので現在ではほとんど栽培されていませんがその特徴を生かして交配種の親として利用されています。ちなみに最も多く栽培されているのは静岡県で育成された「やぶきた」です。加工品では昭和60年には粉末茶を開発して特許を取りました。▼今後の展望と課題についてお聞かせください。●少子高齢化によってお茶農家も激減し、生産量も減っています。特に今年は連休明けの遅霜で大きな被害を受けました。担い手不足を補うためにお茶畑を集約化する必要があります。圃場を整備して乗用型刈取機を導入できるようにし、また法人化等で競争力を高めることが必要です。その為に当研究センターでは省力化に向けた取り組みを推進し、技術指導や行政支援を進めています。▼最後に所長の田原の好きな所、風景はどこですか？●特にこのこ

### 「はじめての女声コーラス」のお知らせ

日時 令和元年7月5日（金）スタート！全8回

7月19日・8月2日、23日・9月13日、20日  
10月4日、25日  
午前10時半～正午

会場 田原公民館 2階集会室  
対象 田原地区在住または田原公民館利用の成人女性

定員 15人

参加費 無料

内容 まず気軽に集まって声を出してみましょう。仲間とワイワイと楽しむことから始めましょう。

申込 公民館窓口にある用紙でお申し込みください。  
〆切り 6月27日（木）

いう所はありませんが、やっぱりお茶畑の風景ですね。急な傾斜のお茶畑を見ていると農家の方の努力が伝わってきます。余談ですが、他府県のお茶畑は等高線に沿った横畝が多いのですが奈良県は圧倒的に縦畝が多いのが特徴です。▼大和茶研究センターでは毎年、小学校の校外学習やその他見学を受け入れて地場産業の一つであるお茶の理解と普及に尽力されています。本日はお忙しい中、瀬川所長に気さくにお話しいただきました。皆さん、緑茶をのみましょう！



やまとみどりの茶畑

### 7月の公民館行事とその他のお知らせ

- 4日（木）プチ田舎暮らし・田原一しそ作り—③
- 5日（金）はじめての女声コーラス①
- 10日（水）チャレンジ和太鼓③
- 18日（木）プチ田舎暮らし・田原一しそ作り—④
- 19日（金）はじめての女声コーラス②  
田原まち創り講座～竹の再生～  
移動図書館
- 24日（水）プチ田舎暮らし・田原一和紅茶作り—  
チャレンジ和太鼓④
- 25日（木）TAWARAキッズ ザリガニ釣り
- 26日（金）老春塾③「風呂敷のある暮らし」
- 27日（土）親子なかよし紙すき体験
- 30日（火）ワックス清掃
- 31日（水）自主グループ代表者会議 こーみんかん・ふれんず



#### 乳がん検診

- 日程：8月23日（金）13:30～15:00 ・ 9月6日（金）9:30～11:00（両検診ともに）
- 対象者：40歳以上の女性で令和元年度中に偶数年齢になる市民
- 料金：2000円
- 申込期日：8月2日（金）まで

#### 子宮頸がん検診

- 対象者：20歳以上の女性で、令和元年度中に偶数年齢になる市民
- 料金：2000円

問合せは奈良市都祁保健センター 電話0743-82-0341まで